

『マイヤーレモン』と言う品種のレモンが、伊丹市東野地区で栽培されている事を知った。伊丹市の農家（本校OB）が、1960年頃に高碓達之助が米国から持ち帰った苗木を譲り受けて、細々と栽培を続けてきた歴史がある。2010年から伊丹市の特産品として注目をあびるようになり、現在は量産化に力をいれている。このレモンに注目し、① マイヤーレモンの加工に取り組み、販売できる商品を作る。② マイヤーレモンの鉢栽培に取り組み、魅力あるガーデニング材料として定着させる事を目的に研究をスタートした。

### マイヤーレモンの特徴 ①



マイヤーレモンはオレンジとレモンの自然交雑で誕生したといわれる品種である。一般的なレモンと比べ表皮がつるつるとしており、熟すとオレンジ色になる。

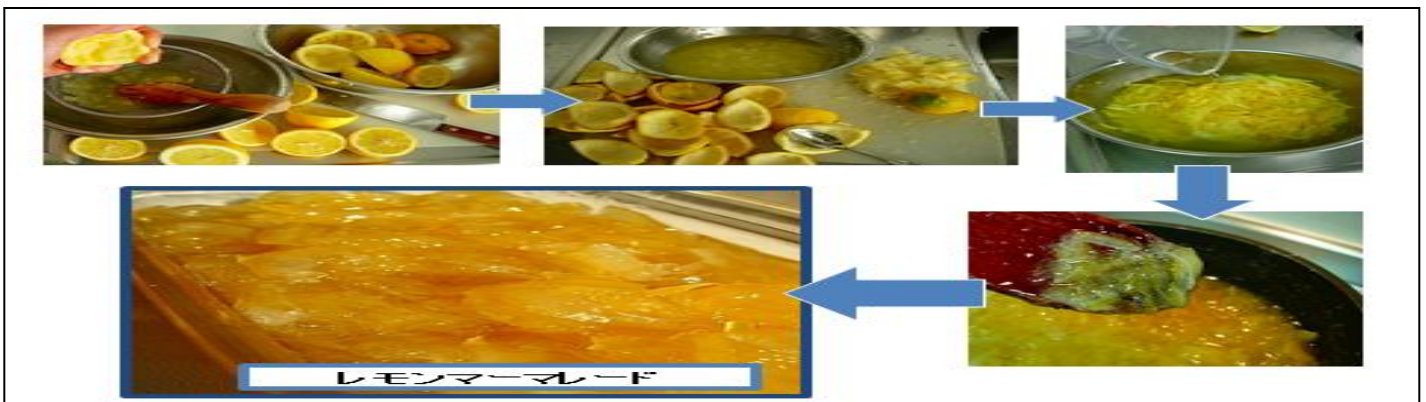
### マイヤーレモンの特徴 ②



耐寒性があり池田市八王寺付近でも露地で栽培可能。生育は非常に優れている。1年を通して果実を付けるが、適切な枝の管理をしないと木が衰弱するため管理が難しい。コンパクトに、鉢またはボックス栽培にすると面白い果樹である言われている。

### マイヤーレモンの特徴を生かした利用方法を開発

#### ①加工品（マーマレード）



#### ②ガーデニングの主材



#### まとめ

① マーマレードの製造であるが、製造工程は決定した。ペクチン抽出の際の水の量を調整し、ゼリー化の強度決定を行った。マイヤーレモンマーマレードの商品化（製造販売）は考えていないが、家庭で楽しむ為のレシピを紹介したい。

② ミツバチの為の庭づくり「ハニービーガーデンの制作と普及」を研究テーマの一つとして取り組んでいるが、マイヤーレモンの庭をモデルガーデンの一つとして完成させたい。地域へのPR活動を行い、マイヤーレモンを使用したガーデンの魅力を発信したい。マイヤーレモンの果実がなった姿（ガーデン）を見て、レモンの香りを楽しみ、食べて楽しめるレモンの普及活動を行いたい。